

平成30年度 特別支援教育特別専攻科（Aコース）前期募集 筆記試験問題 その1/4

1. 以下の文章について、空欄に当てはまる語句を入れなさい。

(1) 教育基本法

- ・ 第一条 教育は、を指し、平和でな国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。
- ・ 第四条 すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない。人種、、性別、社会的身分、又は門地によって、教育上差別されない。

(2) 新学習指導要領（平成29年3月公示）の改定のポイント ※原文ママ

今回の改定の基本的な考え方：

知・徳・体にわたる「生きる力」を子供たちに育むため、「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有しながら、授業の創意工夫や教科書等の教材の改善を引き出していけるよう、全ての教科等を、①及び技能、②力、判断力、表現力等、③、人間性等の三つの柱で再整理。

(3) 教育原理

- ・ は、「子どもの発見」者とされる。「自然に帰れ」という根本思想をもつ。代表的な著書には、「エミール」がある。
- ・ は、「なすことによって学ぶ」と主張し、プラグマティズム（実用主義）に基づく教育を発展させた。シカゴ大学に実験学校を創設した。代表的な著書には、「学校と社会」や「民主主義と教育」などがある。

(4) 文部科学省、2012年『共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）』

インクルーシブ教育システムにおいては、場で学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズのある幼児児童生徒に対して、と社会参加を見据えて、その時点で教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みを整備することが重要である。小・中学校における通常の学級、通級による指導、、特別支援学校といった、連続性のあるを用意しておく必要がある。

総 計	小 計



平成30年度 特別支援教育特別専攻科（Aコース）前期募集 筆記試験問題 その3/4

3. 以下の文章を読み、「正しい」と判断した場合は番号を○で囲み、「正しくない」と判断した場合には  内にその理由を述べなさい。

(1) アセスメントとは、教育現場における実態把握のことであり、適切な支援に役立てるために行われる。

(2) 教育相談では、学校内外のリソース（資源）間の調整を図り、それらリソースが適切に活用されるようにする「コンサルテーション」が大切である。

(3) 学習障害の児童生徒は想像することが難しく、相手の立場に立って考えることが苦手であるため、対人関係上のトラブルが生じやすい。

(4) 発達について、マズローの認知発達論、コールバーグの欲求段階説、ピアジェの道徳性の発達段階などのように、発達課題に応じた段階で示すことがある。

(5) 最近のいじめの特徴として「いじめ集団の四層構造」が指摘されており、観衆や傍観者の存在がいじめを助長したり、長期化したりさせているという。

(6) 心理的安定を図るために、転移、退行、昇華などの「予防機制」が働く。

小 計

平成30年度 特別支援教育特別専攻科（Aコース）前期募集 筆記試験問題 その4/4

4. 以下の図は日本の高校生の自然体験（アウトドア・野菜や果実の栽培や収穫・虫捕り・ペットを育てたことなど）と正義感・思いやりの行動（弱い者いじめをやめさせたことや注意したこと、体の不自由な人や高齢者を手助けしたこと、道路や公園のごみを拾ったことなど）との関係を示している。この図から、言えることおよびその理由について考えを述べよ。

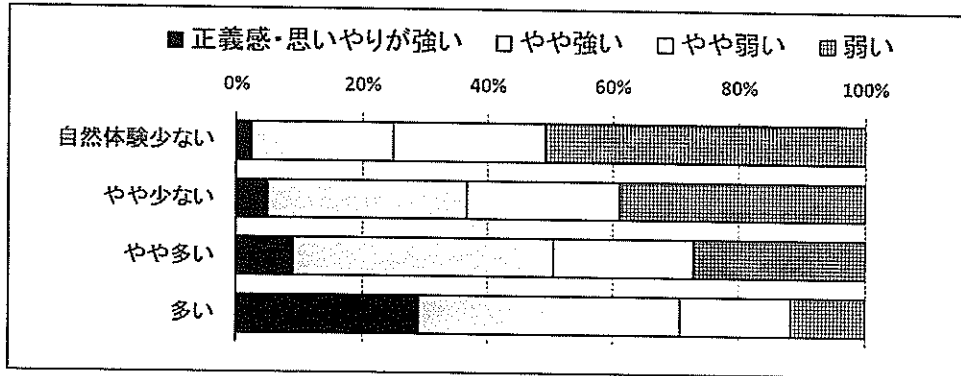


図 自然体験の度合いと正義感・思いやりとの関係

※国立青少年教育振興機構（2015）高校生の生活と意識に関する調査報告書、より

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

※解答用紙が不足した場合は、この紙面の裏面を使用すること。

小 計